

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択課題）

中間評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
24-3	道路の旅行時間信頼性の評価と運用に係る研究開発 －経済便益計測手法の提案と経路誘導システムの構築－	東京工業大学大学院 准教授 福田 大輔	A
<p><研究の概要></p> <p>道路の旅行時間信頼性（移動の定時性）が向上したことによる経済便益の計測・評価手法を提案・検証するとともに、旅行時間の不確実性を前提とした経路誘導アルゴリズムの開発とそのシステム構築について研究する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>概ね順調な進捗で成果も期待されることから、現行の研究計画のとおり推進することが妥当と評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 旅行時間信頼性評価と経路誘導システムの相互の関連性と最終到達目標を、各々明確にしていきたい。2. 旅行時間信頼性の経済便益の計測手法について、OD ベース集計とリンクベース集計の比較分析を行うとともに、一般道路を含めたケーススタディを通じ、実務活用に向けて計測手法の確立や精度を高めていただきたい。3. 経路誘導アルゴリズムについて、「旅行時間は長いが、大きく遅れる確率が低いルート」の選択構造を示すとともに、研究成果の実用化への具体的道筋を示していただきたい。4. 研究成果の活用によって得られる社会的効果等を、わかりやすく提示していただきたい。			